

弾薬庫建設計画が進んでいます！

弾薬庫だけではない！—町が防衛省に要請した施設（さつま町が防衛省に出した請願書より）

- 欠陥機オスプレイがさつま町の上空を飛び回ることになります。

北薩ブロック平和運動センター

防衛省
検討
来年度調査費計上へ

さつま町に弾薬庫整備

防衛省が「つまずいて自衛隊の弾薬庫整備は遅れている」と言っている。関係者へ呼び込み、その状況などを確認する見込みだ。

自衛隊の弾薬庫は現在、全国に約1000棟ある。4年度当初予算案で、2022年度まで分次増築を予定している。政府は反撃能力を有する長射程ミサイルの開発目標になる際まで、実際に攻撃目標になる懸念なく



なぜさつま町に弾薬庫？

防衛省は現在所有している 1400 棟に加え、新たに 130 棟増設するとしています。



さつま町は「川内と鹿屋との利便性がいい」と言う理由です。

弾薬（ミサイル）は

川内港 → グリーンロード → さつま町弾薬庫

さつま町弾薬庫 → 北薩横断道路 → 高速道路 → 鹿屋基地へ

→ グリーンロード → 川内駐屯地へ

鹿屋基地・川内駐屯地がミサイル基地へ？

＝攻撃される対象になってしまいます。

※川内駐屯地の西方 10 km には川内原発があります。

川内駐屯地が攻撃されると誤って原発が破壊される危険があります。

川内港は「特定利用港湾」として、軍事利用用に整備されることになりました。

弾薬庫の危険 事故・水質汚染

福岡県北九州市の山田弾薬庫では、**火薬庫が大爆発**を起こし、わらび採りや燃料の薪として使う弾薬箱を取りに敷地に入っていた住民 62 名が犠牲となったほか、多くの負傷者が出るという悲惨な事故がありました。

東広島市では、飲み水用の井戸から**人体に有毒な有機フッ素化合物（総称 PFAS＝ピーファス・発がん物質）**が検出されています。



わたしたちの力で！

今後どうなるのか？さつま町のだけでなく、近隣市町村・鹿児島県全体の問題です。安心・安全な毎日の生活を守るために、一緒に声を出していきましょう！

徹底した外交によって平和を！

北薩ブロック平和運動センター



＜地質調査がすすむ
さつま町中岳＞

住民の不安をよそに防衛省は地質調査を進めています。

また、弾薬庫建設されると中岳周辺はどうなるのか、全く説明がありません。

＜進む軍事化のねらい＞

現在九州・南西諸島（琉球弧）で軍事基地化が進んでいます。

元自衛隊の幕僚長は「米国が南シナ海や東シナ海で中国と軍事衝突した場合に米軍が米領グアムまで一時移動し、沖縄から台湾、フィリピンを結ぶ軍事戦略上の海上ライン『第1列島線』の防衛を同盟国の日本などに委ねる案が検討されている」といっています。

米国と中国との戦争に、九州・南西諸島が巻き込まれ、住民が犠牲になってしまいます。

＜「台湾有事は日本有事」ということの覚悟？＞

